学校運営協議会　議事録

校名	府立千里青雲高等学校
校長名	谷廣　進一

開催日時	令和　8年　6月　23 日（火）　15:40　～　16:55
開催場所	府立千里青雲高等学校　1号館2階　校長室
出席者(委員)	会長　副会長　委員4名
出席者(学校)	校長　教頭　事務長　首席　進路指導部長（代理）　特別活動部長
傍聴者	
協議資料	令和8年度開催日程・委員一覧　学校運営協議会実施要項 令和8年度学校経営計画及び学校評価　令和8年度教育課程 令和8年度年間行事予定　17 期生進路概要 特別活動部活動報告　共生推進教室報告
備考	

議題等(次第順)
（1）校長挨拶 （2）委員紹介 （3）実施要項の確認 （4）会長挨拶 （5）学校報告 ア. 学校運営協議会への意見書の提出 （令和8年2月5日より令和8年6月 22 日まで　なし） イ. 学校経営計画　他 ウ. 教務部 エ. 進路指導部 オ. 特別活動部 カ. 共生推進教室 （6）意見交換 （7）校長謝辞 （8）諸連絡

協議内容・承認事項等（意見の概要）

〇令和8年度学校経営計画
　めざす学校像・・・深い学び、進路実現、共生推進教室設置校、地域からの信頼
〈中期的目標〉
　①確かな学力の育成・・・特に授業の充実と進路指導について記載。
　　昨年度末の結果では授業に関する肯定的回答 85%、進路への満足度 97%、関関同立合格者 40 名以上ということで、目標値を達成している。今後もこの状況を維持していきたい。

　②学びを深めるための教育内容・・・学校行事、部活動、地域連携、国際理解等について記載。
　　行事への満足度 90%以上、部活動への加入率 80%以上の維持をめざしている。
　　部活動や出前授業を通じた地域との連携も進めていく。
　　国際交流では、1月に台湾へ訪問。6月には台湾から来校して交流を実施した。

　③安全で安心な学校づくり・・・生徒指導、環境整備、教育相談、人権教育について記載
　　遅刻者数の 10%減、生徒指導への納得感 65%以上をめざす。（昨年度末の結果では 68%）
　　時代の流れもあるが、生徒にも説明しながら必要に応じて見直しも行っていければと考えている。
　　校内美化の徹底、生徒一人ひとりに寄り添った形での支援体制の構築、研修を通して人権意識の向上をめざしている。

　④組織力の向上と魅力発信
　　働き方改革の一環で時間外在校等時間の減少が設定されているが、働きやすい雰囲気づくり、協力して働きやすくしようという流れになればいいなと思っている。特定の教員への業務負担の偏りを是正していきながら、少しでも働きやすい環境づくりをしていきたい。
　　魅力発信においては、新たな予算がついている。本校ではHPのスマホ対応への改修に活用する。
　　学校説明会の回数は近隣校に比べても回数は多い方であるが、中学生の参加者の満足度が 90%以上となることを目標としている。

〇令和 10 年度入試選抜における学校特色枠
　1　硬式野球、水泳、バスケットボールで、これらの運動能力に優れて部活動に積極的に取り組む生徒（20%）
　2　総合学科としての多様な学びに関する意欲関心をもった生徒（10%）
　で募集する。1については実技検査も実施し、2については音楽、美術、保健体育、技術家庭の評定で判定する。

〇教務部
　①令和8年度教育課程実施計画
　　生徒一人ひとりの状況に応じて多様な選択科目の中から選択をしている。

　②行事予定
　　6月の体育祭は台風の影響もあり、1日順延して開催。新たな試みとしてPTAでタオルを販売してもらった。
　　100 枚以上の売り上げがあった。
　　今後は期末考査、夏休みがあり、明ければ文化祭が行われる予定である。

〇進路指導部
　①17 期生進路結果
　　ここ2、3年の傾向としては大きく変化していないが、10年単位でみると短大、専門学校への進学者は減っている。（短大そのものは設置大学自体も減っている）
　　大学進学者の中で入試方式別に見ると、指定校推薦での進学者が過去数年の中で一番少なかった。学校推薦型での進学者は36%だが、その半数は年明けの一般入試までチャレンジした。
　　1期生から数えていわゆる難易度の高い大学へ進学した生徒の数は過去最高となった。
　　また資格系の大学への進学というところでは教育系9名　医療系31名　看護系16名という結果になった。

〇特別活動部
①部活動加入率　全体で 82.6%
1年生での加入率が昨年より減少したが、全体としては昨年よりもやや増加している。3年生で毎年加入率が減少する傾向にあるが、今年度は3年生も 80%近くを維持している。

②各クラブの成績
陸上競技部が先日近畿大会へ出場した。

〇共生推進教室
①毎週火曜日にとりかい高等支援学校へスクーリングに行き、情報共有をしている。

②保護者との連携については保護者懇談会を5月、11 月に実施し、教員と保護者、保護者間での連携もはかっている。

③生徒の様子としては千里青雲で部活動をしたいという生徒が多く、とりかい高等支援学校での部活動に参加している生徒もいる。非常に楽しく、学校生活を過ごしている生徒、総合学科生と共に生活をしている生徒もいるが、なかなか自分のことを伝えるのが苦手な生徒ももちろんおり、共に生活をしていくという中で関係性を一生懸命築こうとしているというところである。
総合学科生と一緒に授業を受けていくことになるため、学習サポーターを必要とする生徒もいる。

④近年の卒業生の進路先としては自立訓練校、職業訓練校へ進む生徒が増えてきている。

⑤共生推進教室の行事としては現在七タプロジェクトを行っており、渡り廊下に全校生徒の短冊を掲示している。スクーリングがない日には喫茶、デリバリーの練習なども行っている。

質疑応答・意見交換

〇タオル販売は他校でも実施しており、売り上げをPTA予算として生徒たちに還元していくことができればと考えている。来年度はバリエーションを増やしていく予定である。

〇体育祭に関してルールを緩めるという話題があったが、どのような雰囲気だったのか。
⇒ヘアアレンジやメイクに関して緩和したが、大幅にルールを逸脱するような生徒はおらず、すごく良い雰囲気の中で開催することができた。

〇体育祭での子供たちの様子を見たが、ルールも緩和されて、その範囲の中でとても楽しんで取り組んでいる表情や会話が見られ、すごく良い雰囲気だったと思う。終了後の部活動についても切り替えて取り組んでおり、ルールをきっちりと守れているところがすごく素敵だと思う。メリハリってやっぱり大切だと思うのでこれからも子供たちの様子を見ながら学校行事も楽しんでくれたらなと思っている。
進学実績もとてもよくなっており、勉強に対しての意識も上がってきているように感じた。勉強する環境はすごくいいなと思うし、息子は大学の4回生で就職活動と勉強を両立できているのは青雲で高校時代に指導してもらったおかげだと感じている。

〇息子は卒業してからも部活動に顔を出しており、すごく3年間楽しかったようで今でも当時の同級生とチームを作っている。
来年度から箕面市では中学校の部活動はなくなってしまう。千里青雲も部活動に力を入れているが、小学校のころからクラブチームなどで活動している場合はいいが、中学校で初めてクラブに入るような生徒についてはやはりできる環境が少ないかなと思う。

〇豊中市では令和 10 年度に完全移行、今年入学してきた子たちは3年生まで。来年以降は2年生や1年生の夏で完全移行となる。池田市も同じスケジュールで、箕面市は1年早くなっている。今年から地域クラブも試行されており、来年度は大幅に増える予定ではあるものの、移行期間をどうするのかというのも中学校としては課題である。

〇部活動の地域移行に伴って働き方改革がどれだけ達成できそうか見通しはなどがあれば教えてほしい。
〇見通しとしてはまだ立っていないが、生徒と向き合う時間や、学習の質問をしたい生徒に時間を割くことはできるようになるかなと思っている。

〇勉強だけじゃなくて部活動も頑張るぞという生徒たちには影響もあるかもしれない。
〇中学校としては地域クラブを紹介する窓口になると思うが、どんなクラブがどの地域にできるのかは未知数である。教職員についても兼業が認められたとしてその場合に勤務終了で即学校を出ることができるのか。クラブの子どもたちに影響が出るので、出られる環境を作っていかないといけない。

〇共生推進教室という取り組みについて初めて知った。ぜひとも詳しく知りたい。
⇒在籍としてはとりかい高等支援学校となり、週に1度、火曜日にとりかい高等支援学校へスクーリングに行って職業に関する授業を受けている。残りの週4日については千里青雲高校で授業を受けている。
　千里青雲では総合学科生とともに授業を受ける科目もあれば、抽出して共生推進教室生だけで授業を受ける科目もある。必要に応じて教員が入り込みをしたり、学習サポーターが授業へ入ったりしている。生徒一人ひとりの状況に応じてサポーターが入らない場合もある。

〇世界的にはインクルーシブ教育が提唱される中で、逆に支援学校を増やそうという流れもあり、共生推進教室の取り組み自体が非常にありがたいと感じる。
⇒千里青雲は共生推進教室設置校であるが、自立支援コースを設置している学校もある。自立支援コースの場合は高等学校籍となる。

〇学校特色枠の文化・体育的活動について、硬式野球、水泳、バスケットボールがあがっているが、他の種目は入らないのか。
⇒カリキュラムの中にある競技スポーツという科目になっている種目であり、昨年度に部活動の状況も踏まえて決定している。

〇学科等への適性について、総合学科で考えるとどの科目も大事であるし、もう少し種目や科目にバリエーションがあれば良いのではないか。
　⇒確かにそうなのだが、あまりに幅広くしてしまうと、結局どれも叶えることができなくなってしまう。また選抜基準が複雑になればそれだけ判定も複雑になり、中学生も混乱してしまう可能性がある。

〇3年生の部活動加入率が昨年に比べてわずかとはいえ増加しているのは素晴らしいことである。1年生についてもたくさん入部しており、部活動指導についていろいろと努力しているのだなと感じる。

〇部活動の参加率が 80%以上というのは何か取り組みがあるのか。
⇒各学年で部活動に入ろうという声かけをしていることと、部活動が盛んということが売りの一つでもあるので部活動体験を3回行っている。各部活動のインスタグラムも開設されており、中学生に向けての情報発信を行っている。

〇多様な学びという点ではパンフレットからはなかなか読み取れないが、どのように説明しているか。
　⇒パンフレット紙面にはスペースの都合があり載せていないが、学校説明会の際には選択科目の数や、いわゆる普通科と同じような科目、総合学科ならではの科目があることなど、具体的な説明をしている。細かな情報については別紙を挟み込む等して対応したい。

次回の会議日程	
日時	令和8年11月　日（　）
会場	府立千里青雲高等学校　1号館2階　校長室